

クラス	316	担当教員	藤井啓之
テーマ	子どもの権利を軸とした学校・学級づくり		
著書・論文 研究課題等	『新しい時代の生活指導』（共著、有斐閣、2014） 『PISA 後のドイツにおける学力向上政策と教育方法改革』（共著、八千代出版、2019）		
ゼミナール概要			
キーワード：子どもの権利、SDG s，多様性、インクルーシブ教育、いじめ・不登校			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>【目的】 子どもの権利を保障する観点から教育について考えられるようにする。</p> <p>【内容】 現在と未来を生きる子どもの、「安心して生きる権利」「豊かに生きる権利」「社会制作に参加する権利」などを保障するために、教科内容論、学力論、授業論（たとえばSDG s など未来社会のつくり方に関わる問題）や生活指導論（校則、友だちづくり、いじめ、不登校）をどうしていくべきか、どのような学校をつくっていくべきかについて考える。多様な子どもが、それぞれの持ち味を生かしながら安心して豊かに生きていける学校や社会をつくっていくために、どのような教育や学校（教育内容、教育方法）が必要なのか。</p> <p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストを決めてみんなで読む（いまのところ、『子ども若者の権利と学び・学校』2024.2 出版）を予定） ・教育をめぐる時事問題について子どもの権利の視点から議論する。 ・論文を読んで、研究方法と論文作成方法について考える。 			
担当教員からのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが幸せに育つために教師に何ができるか、について考えたい人が来ることを期待しています。 ・自分の被教育体験や、1，2年の大学での学修内容、学生生活の経験を持ち寄って、自分の教育学的な感性を磨いていける場になるとよいと思います。 ・ゼミは大学の学びの集大成です。真剣勝負で行きましょう。 			